

令和7年度 第1回扶桑町地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和7年5月30日（金）午前10:00～

場所：扶桑町役場2階大会議室

出席者：〈委員〉18名中16名

中部大学教授《会長》	磯部 友彦
犬山タクシー株式会社	長屋 涼
愛知県タクシー協会	松浦 秀則
公益社団法人愛知県バス協会	小林 裕之
犬山タクシー株式会社	永川 博之
扶桑町老人クラブ連合会	間宮 進示
扶桑町身体障害者福祉会	源口 千秋
扶桑町山那地区	大滝 雅男
扶桑町北新田地区	長瀬 直子
国土交通省 中部運輸局愛知運輸支局	原田 光一郎（代理 山田 慎児）
愛知県都市・交通局	石屋 義道（代理 藤原 太陽）
愛知県犬山警察署	佐々木 信祐
扶桑町副町長《副会長》	北折 廣幸
名古屋鉄道株式会社	高井 勇輔（代理 石原 篤）
社会福祉法人扶桑町社会福祉協議会	安井 友貴
株式会社アイシン	杉山 仁

〈事務局〉4名

生活安全部長	長谷川 明夫
生活安全部 地域協働課長	兼松 孝行
生活安全部 地域協働課 主幹	奥田 敏弘
生活安全部 地域協働課 主査	横井 航太

会議資料：資料1－1：地域公共交通確保維持費国庫補助金について

資料1－2：地域公共交通計画認定申請書（案）

資料2－1：扶桑町地域公共交通計画【概要版】

資料2－2：扶桑町地域公共交通計画の評価等の結果の送付について（案）

資料3－1：令和6年度扶桑町地域公共交通会議決算の承認について

資料3－2：令和7年度扶桑町地域公共交通会議予算

資料4：チョイソコふそう本格運行第1期経過報告について（概要版）

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 扶桑町地域公共交通会議の委員変更を報告。町長からの委嘱状につきましては机上配付とさせていただく。扶桑町地域公共交通会議の委員数 18 名に対し、本日は 16 名が出席されている。過半数を超えているため、本日の会議は成立していることを宣言する。
委員の代理出席及び傍聴者について報告、説明を行う。また、配布資料の確認を行う。

【山田委員】 「活発で良い議論ができる会議のために。」について説明を行う。

【磯部会長】 議事録署名者に犬山タクシー株式会社 長屋委員、扶桑町山那地区大滝委員を指名。

2 議題

(1) 協議事項

①地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金にかかる地域公共交通計画の認定申請について

【事務局】 事務局奥田主幹より資料 1-1 地域公共交通確保維持費国庫補助金、資料 1-2 地域公共交通計画認定申請書（案）について説明。

【磯部会長】 この件について、承認してよろしいか。

【委員】 意義なし。

②扶桑町地域公共交通計画の事業評価の協議について

【事務局】 事務局奥田主幹より、資料 2-1 扶桑町地域公共交通計画（概要版）、資料 2-2 扶桑町地域公共交通計画の評価等の結果の送付について説明。

【山田委員】 実績数値が令和 5 年度の数値を記載されているが、実際に評価をするのは令和 6 年 4 月から令和 7 年 3 月までのいわゆる令和 6 年度の実績をベース評価をするため、鉄道事業者から令和 6 年度の実績数値がいつ頃提

出できると聞いているのか教えてほしい。

【事務局】 名鉄に令和6年度の利用実績の調査を依頼しており、来月中には情報提供があると思うが、令和6年度の数字が固まってから提出した方がよいのか？

【山田委員】 令和5年度の数字は参考として記載しつつ、令和6年度の実績を記載するのがよい。

【事務局】 情報が固まり次第、記載させていただく。

【山田委員】 地域公共交通計画の評価等結果の様式中、評価・次年度に向けた課題や取り組みという黄色で色付けをしている箇所について、高齢者の自由目的を中心とした移動需要に対応したサービスの提供（令和7年度）と記載されているが、何か新しいサービスを検討しているのか、チョイソコふそうを更に活用していくという意味なのか、イメージを教えてほしい。

【事務局】 チョイソコふそうを中心として、他の公共交通との連携も含めてサービスの提供を検討していきたいと考えているが、具体的な案はこれから検討していく。

【北折副会長】 地域公共交通計画の評価等結果の様式中、評価・次年度に向けた課題や取り組みの2枚目に、目標を達成するための取組として、公共交通の乗り方を指導する乗り方教室、交通ルールやマナーを指導する交通安全教室と書かれているが、主に子どもを対象に実施するということでよいのか？

【事務局】 ここに記載している部分については子どもを対象とした取り組みにはなるが、今後は子どもに限らず高齢者も対象とした乗り方教室や交通安全教室を開催していきたいと考えている。

【北折副会長】 先日町内で交通死亡事故があり、特に子どもの交通ルール指導は公共交通会議に限らず、防災安全課や犬山警察署と協力しながら推進していく必要があるが、今後公共交通会議が主催するのか、防災安全課や犬山警察署の協力のもとに小学校や中学校全てで実施するのか、イメージがあれば教えてほしい。

【事務局】 地域公共交通会議に限らず、広く他部署と連携しつつ、チョイソコイベントと絡ませながら開催していく予定。

【磯部会長】 確認だが、資料 2-1 の 4 ページに公共交通利用者の目標値が記載されているが、現在は鉄道とチョイソコふそうに限っているが、タクシーを入れるのか入れないのか。もし入れるなら、タクシーの利用者はどのように確認するのか。

【事務局】 現在は、タクシーの運行状況や利用者を人数で算出するのが難しい状況。

【松浦委員】 愛知県タクシー協会に問い合わせをすれば、2 社（名鉄タクシー、犬山タクシー）ではあるが、大まかな数字は把握できる。ただ、エリアが漠然としており会社別でしか数字が出せず扶桑町分という数字は出せないと思われるため、利用者数に含める必要はないと考える。

【磯部会長】 今後、他の公共交通会議から要望が出てくるとも考えられるため、細かい数字が出せる方法がないか検討して欲しい。この件について、承認してよろしいか。

【委員】 意義なし。

③令和 6 年度扶桑町地域公共交通会議決算の承認について

【事務局】 事務局横井主査より、資料 3-1 令和 6 年度扶桑町地域公共交通会議決算の承認について（案）および令和 7 年度扶桑町地域公共交通会議予算について説明。

【磯部会長】 この件について、承認してよろしいか。

【委員】 意義なし。

④監事の選任について

【事務局】 事務局兼松課長より説明。

【磯部会長】 監事の選出について、事務局として意見はあるか。

【事務局】 事務局としては、扶桑町身体障害者福祉会の源口委員、扶桑町社会福祉協議会の安井委員を推薦する。

【磯部会長】 ご指名いただいたお二人はよろしいか。異議がなければお二人を任命してよろしいか。

【委員】 異議なし

(2) 報告事項

① チョイソコふそう本格運行経過報告について

【事務局】 事務局奥田主幹より資料4 チョイソコふそう本格運行第1期経過報告について説明

【山田委員】 予約不成立状況について、さらに増加すると使い勝手が悪く利用者離れに繋がる可能性があるため、曜日の偏りや目的、行先に応じて、なぜそうなっているのかは検証し対策していく必要がある。特定の施設や曜日、時間帯など現状認識している課題はあるか。

【事務局】 特定の施設ではなく基本的には時間帯が問題になっており、午前中は通院や買い物などで利用される方が多く、かなり予約が取りにくい状況になっている。今年度から、町外の病院に行く際はタクシー券を2枚利用できるなど制度を変更しているため、少し様子を見ていきたい。

【安井委員】 乗合率について平均1.45とあるが、これでも曜日によって予約が取れないという状況なのか。運行車両の見直し等は検討されているのか。

【事務局】 具体的に提示できる数字はないが、日々の運行状況を見る限り、多い時には7人乗っている時もあるため、車両のサイズが理由ではないと考える。杉山委員はどう考えるか。

【杉山委員】 乗車される方が、同じ時間帯に同じような場所に行きたいという傾向が強く、特に江南厚生病院は利用者が多いため不成立が発生しやすくなっている。扶桑町はコンパクトな町であり、小さい移動を繰り返す人が多いため、車両を小さくすると午前中は耐えられない。現状維持が望ましいと考える。

(3) その他

免許返納者への地域公共交通の啓発について（大滝委員からの質問）

【事務局】 免許返納者への地域公共交通の啓発を実施するにあたり、犬山市ではわん丸くんバスの回数券を渡している。現状扶桑町には回数券はないが、今後、免許返納を促進する取り組みを検討しているかと、と大滝委員から事前にご質問をいただいたため回答する。

現状、回数券等の配布は計画していないが、防災安全課などの他部署を含めて協議しながら、継続してチョイソコふそうの存在は広く啓発していきたいと考えている。差し当たって、犬山警察署交通課の協力をいただき、免許返納者にチョイソコふそうのチラシを配布してもらっている。

(4) 閉会

【事務局】 閉会の挨拶を行う。

令和 7 年 6 月 10 日

本書は、令和7年5月30日に開催された扶桑町地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 長屋 涼

署名人 大滝 雅男